

製品名: TIMP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86626**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	2.4mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:23 kDa; Observed MW:26 kDa

抗原情報

遺伝子名	TIMP1
別名	EPA; EPO; HCl; CLGI; TIMP; TIMP-1
遺伝子 ID	7076
SwissProt ID	P01033
免疫原	ヒト TIMP1 の組み換えタンパク質

背景

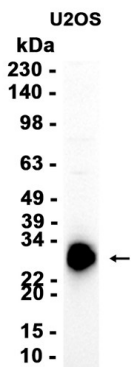
この遺伝子は TIMP 遺伝子ファミリーに属する。この遺伝子ファミリーによってコードされるタンパク質は、細胞外マトリックスの分

解に関与するペプチダーゼ群であるマトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) の天然阻害剤である。既知の MMP のほとんどに対する阻害作用に加え、コードされるタンパク質は幅広い細胞種において細胞増殖を促進し、抗アポトーシス機能も有する可能性がある。この遺伝子の転写は、多くのサイトカインやホルモンに対して高い誘導性を示す。さらに、不活性 X 染色体の一部 (全てではない) から発現が見られることから、この遺伝子の不活性化はヒト女性において多型性を示すことが示唆される。この遺伝子はシナプシン I 遺伝子のイントロン 6 に位置し、逆方向に転写される。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



TIMP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した U2OS 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。